

特定行為研修修了者・認定看護師・専門看護師を 活用した訪問看護ステーション経営の視点

なごみ訪問看護ステーション 
代表取締役／看護師
川崎 広志

なごみ訪問看護ステーション



- 中野区を本店にサテライト6か所の展開
- 機能強化型1訪問看護ステーション
- 小児を対象とする相談支援事業所の併設
- 看護師、セラピスト、認定看護師、専門看護師が在籍

スタッフ数
80名以上

- | |
|-------------------------|
| ▶皮膚・排泄ケア認定看護師 |
| ▶認知症看護認定看護師 |
| ▶訪問看護認定看護師 |
| ▶脳卒中リハビリ看護認定看護師 |
| ▶がん看護専門看護師 |
| ▶特定行為研修修了者 在宅・慢性期領域 |
| ▶糖尿病看護特定認定看護師 (来春取得予定) |
| ▶特定行為研修 創傷管理関連(来年度受講予定) |



(2021年度現在)



本日の内容

特定行為研修、専門性の高い看護師への

- ・ 受講支援
- ・ 課題
- ・ 活動
- ・ 期待



経営理念 “人を大切にする”

安定した経営

人づくり

人間性

社会性

OJT

地域研修

実習生



訪問看護ステーションの経営

- ◆ 医療保険と介護保険による保険収益が大部分を占める。
➡利用者宅に訪問し実績を上げる。

$$\text{収益} = \text{訪問単価} \times \text{訪問件数}$$

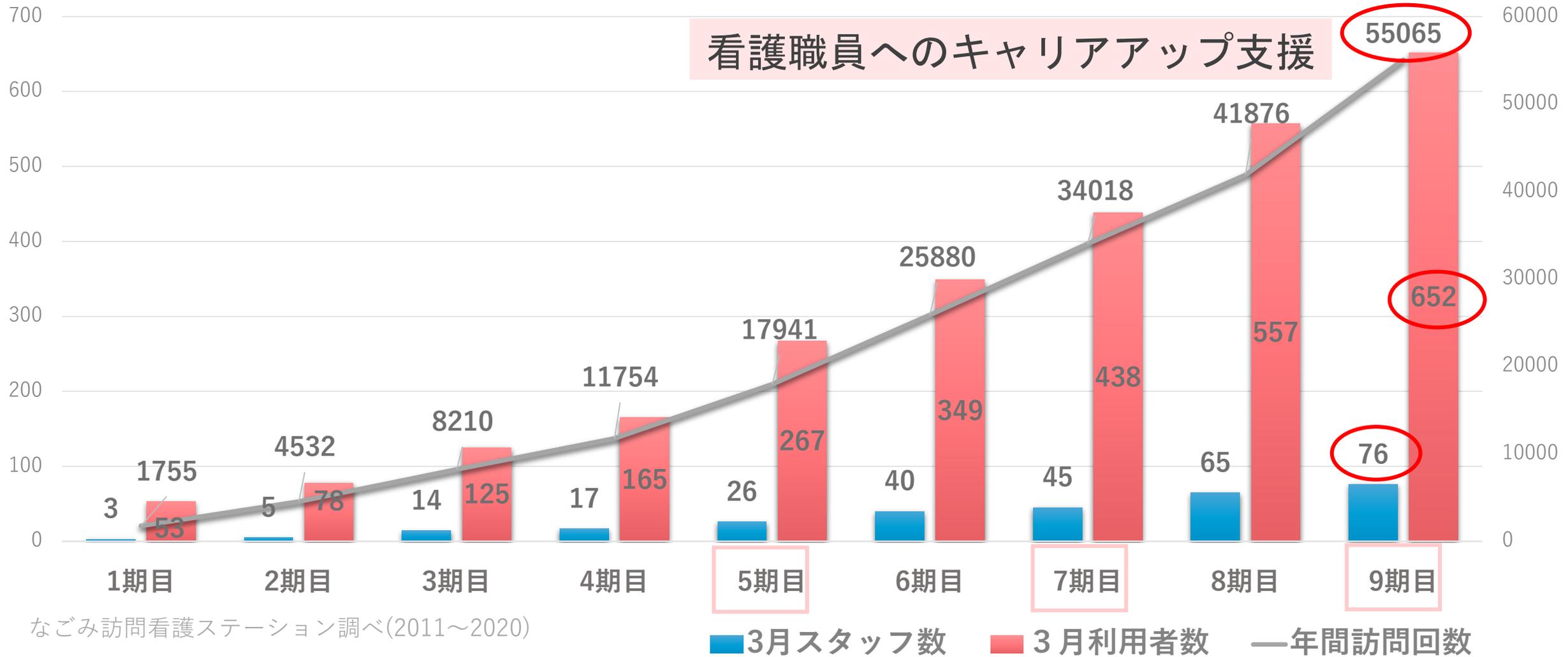
- ▶加算
- ▶機能強化型ステーション等

- ▶新規利用者
- ▶訪問回数
- ▶土日/祝日訪問 等

- ◆ 退院当日の新規依頼、連日介入する医療処置・小児・看取り等、多様な利用者ニーズに応え続ける。
➡大規模訪問看護ステーションであり続ける。



スタッフ数・利用者数・訪問回数の年次推移

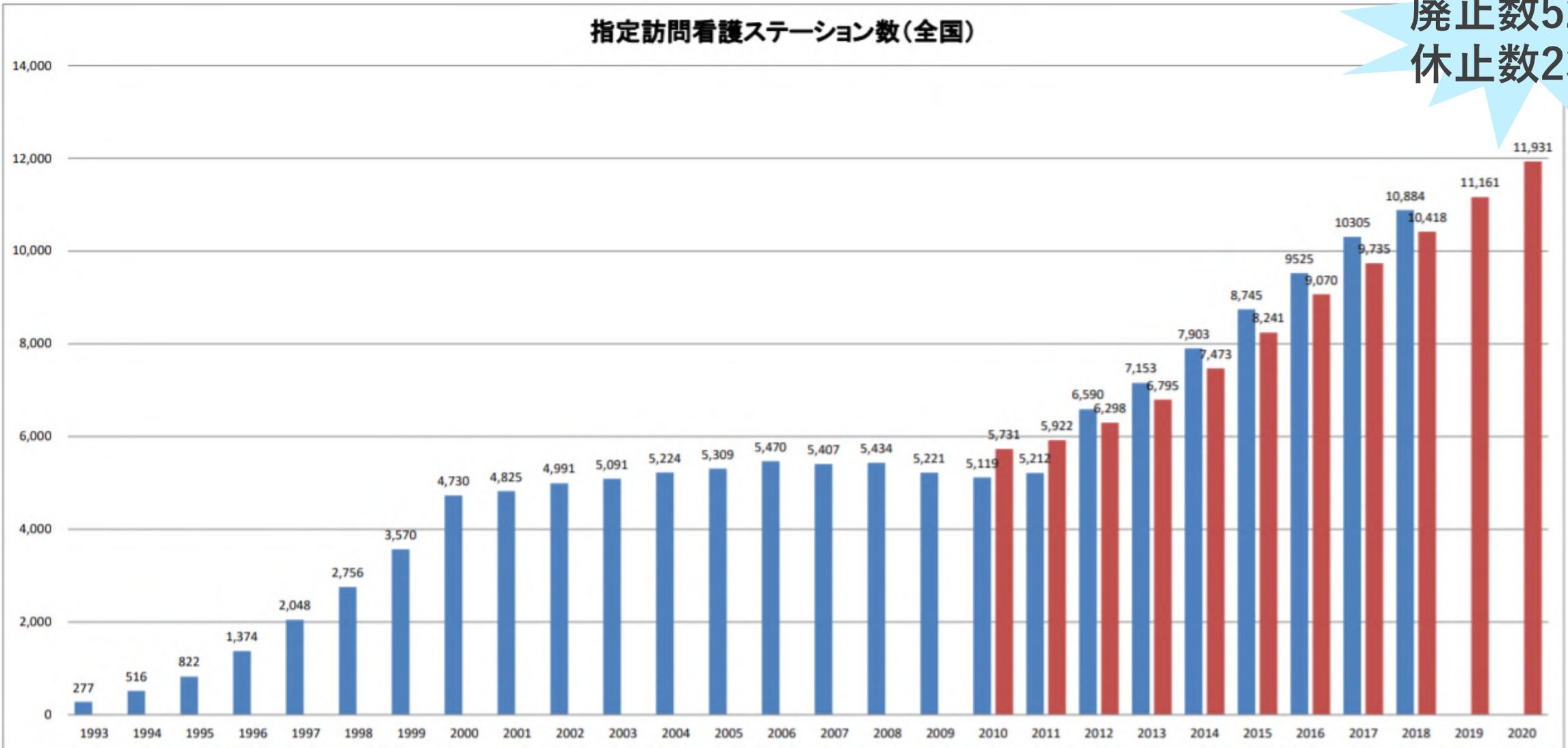


なごみ訪問看護ステーション調べ(2011~2020)



訪問看護ステーション数の現状

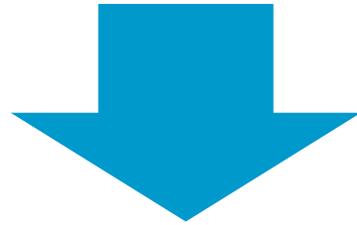
指定訪問看護ステーション数(全国)



廃止数526件
休止数238件



超高齢社会の需要とニーズに応えるためには
今後も訪問看護ステーションの増加は見込まれる



訪問看護ステーションとしての優位性をもつ



訪問看護ステーションの在り方

訪問看護ステーションとしての優位性をもつ

質の高い看護

医療機関・医師・ケアマネジャーとの
連携体制の強化

働きやすい環境づくり

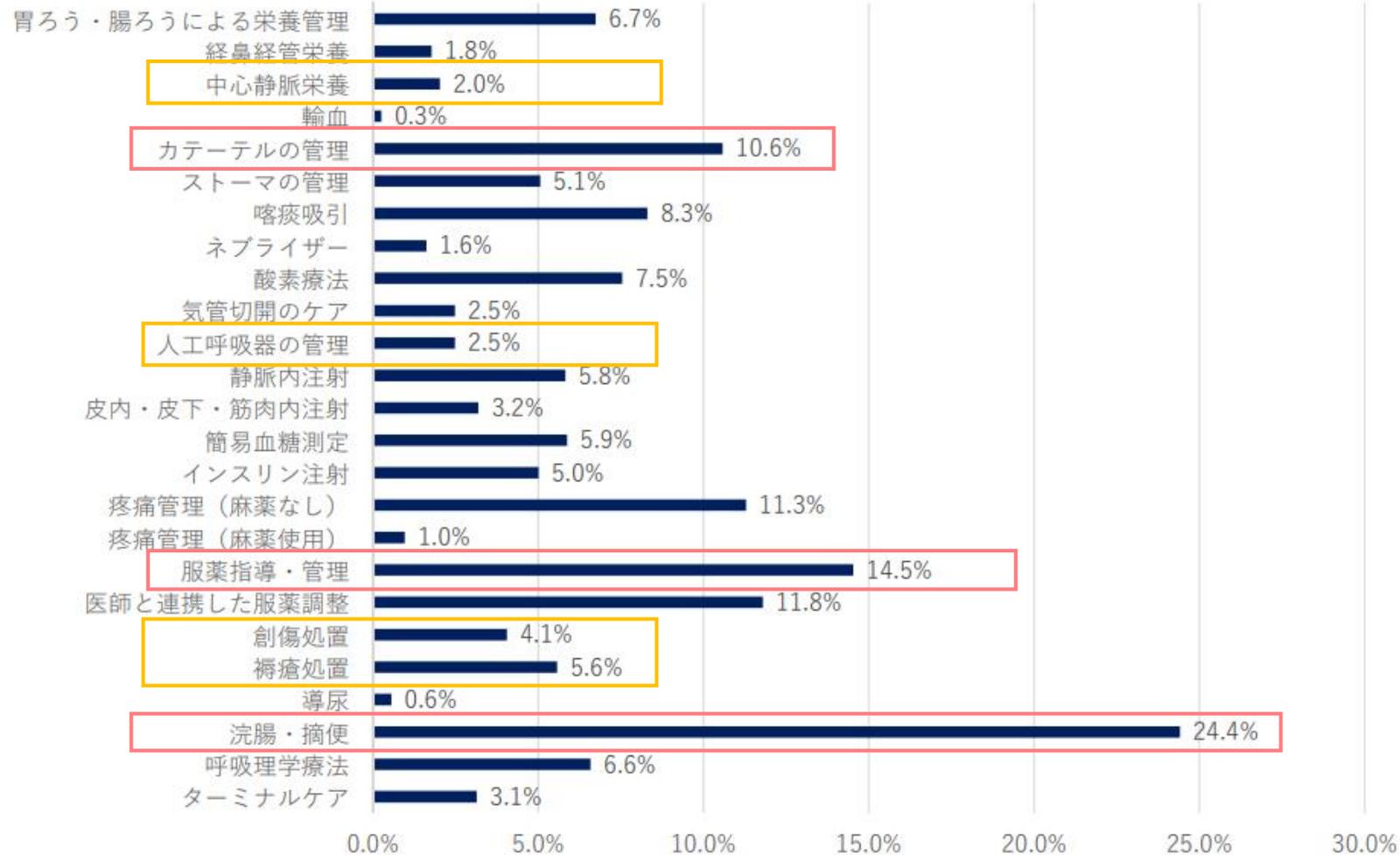
地域に開かれたステーション



訪問看護事業所において提供した医療的な処置・ケア

■ 訪問看護事業所において提供した医療的な処置・ケア(複数回答)

(n=1,975)

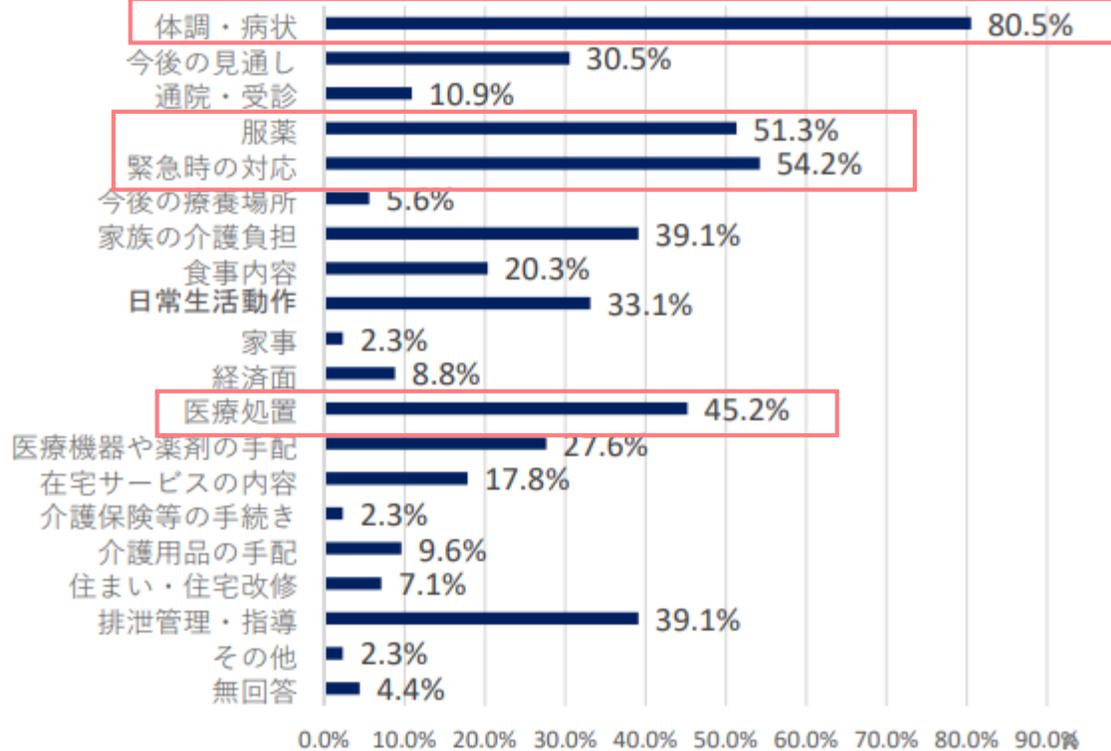


【出典】平成30年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(令和元年度調査)「訪問看護サービス及び看護小規模多機能型居宅介護サービスの提供の在り方に関する調査研究」データを元に老人保健課において作成

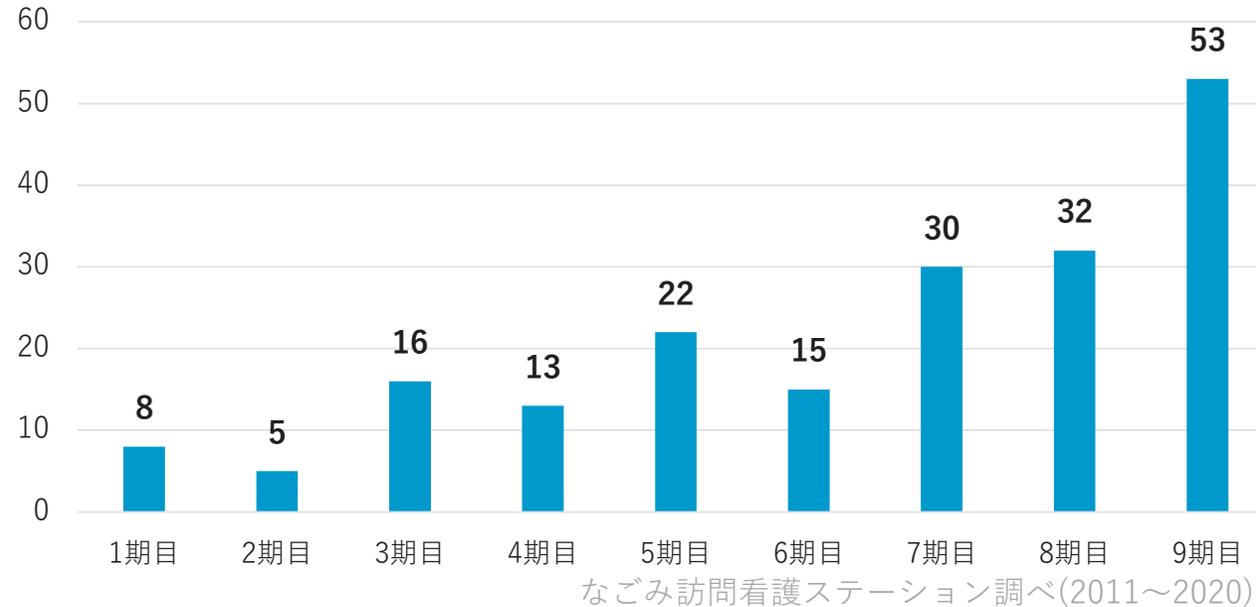


在宅医療の現状

- 退院当日に訪問が必要であった利用者・家族の困りごとや心配ごと (n=478)



ターミナルケア療養費 算定件数



出典：平成30年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和元年度調査）
「訪問看護サービス及び看護小規模多機能型居宅介護サービスの提供の在り方に関する調査研究事業報告書」

在宅療養者の医療的ニーズは高まる。
➡急性期から緩和ケア、医療処置、集中的かつ継続した看護が求められる

訪問看護ステーションでの看護の質とは

訪問看護のケア／教育のイメージ
経験年数のあるベテラン看護師からの教育と
在宅看護の質を高めるには...



- 訪問看護における保険制度・連携・マナー
 - プリセプター／チーム教育・なごみOJTBookの活用
 - 同行訪問の実績

利用者・スタッフを通じた学び

- 日々の訪問、緊急訪問で看護師が感じる判断への不安
 - 専門性の高い看護師**
特定行為研修修了者

根拠ある思考・実践・指導からの学び



専門性の高い看護師、特定行為研修修了者の必要性

地域・利用者のニーズ

- 医療的ケア・処置が増加する中で
病院から在宅へ継続した看護
- 介護を支える家族や介護職へ
生活の視点を踏まえた効果的な教育
の提供

教育・看護の質の維持

- 利用者を対象としたコンサル
テーションの実施
- 生活、家族看護を含めた相談
と支援
- 在宅で学ぶ環境づくり



在宅医療で求められる特定行為研修修了者の必要性

▶ 医師の作成した手順書により特定行為を行う看護師

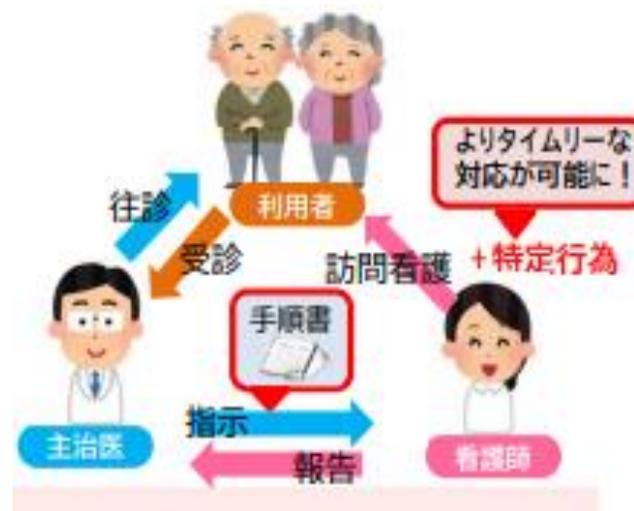


▶ 特定行為を行う上で、必要とされる実践的な理解力、思考力および判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修を受けた看護師であること

フィジカル
アセスメント

チーム医療

臨床推論



医師の思考過程

的確な報告

判断力



活動する上での課題 -利用者毎に異なる主治医の理解-

- ・特定行為研修修了者って何？
- ・指示書と手順書の違いは？
- ・医療安全は大丈夫なのか？



丁寧な説明
理解を得る

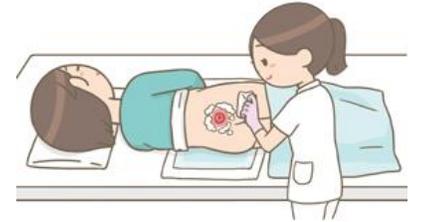


- ・同行訪問・顔の見える関係
- ・手技の見学、実施

手順書の発行



特定行為の実践
タイムリーな報告



医師、訪問看護ステーション間の実績を増やす
➔ 利用者の紹介が増えかつ在宅医療の幅の広がりに期待ができる



看護職員へのキャリアアップを支援する環境づくり

〈実例〉

- ・ 履歴書、事例の添削
- ・ 面談対策

処遇の支援

- ・ 認定看護師への進学 学費約100万円以上+給与約240万円(8か月)
- ・ 特定行為研修(在宅・慢性領域) 学費約50万円以上+給与約50万円(1.5か月)

決意 ← 受験 入学 → 修了

管理と面談

意思表示
協力を仰ぐ

受験

先輩スタッフからの支援
受験までの準備



入学

訪問の協力支援
利用者の引継ぎ

給与保障
研修費／学費の保障



修了



看護職員へのキャリアアップを支援する環境づくり

支援なくしてキャリアアップは難しい

令和2年看護師の平均賃金

	平均年齢	現金給与額	年間賞与 その他特別給与額	年間収入
男性	38.8歳	36.8万円	44.8万円	486.4万円
女性	41.5歳	30.2万円	72.8万円	435.2万円

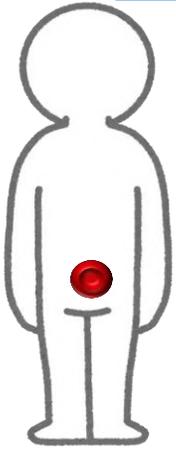
令和2年賃金構造基本統計調査より作成 抜粋

- ◆教育支援のための利益配分をする
- ◆助成金を上手に使う



専門性の高い看護師、特定行為研修修了者による効果

1. 専門分野の新規利用者の増加 (問合わせ含む)



【例】皮膚・排泄ケア認定看護師
褥瘡・創傷・ストーマに関連した新規件数 年間30件以上 (9期目実績)

外科的デブリードマン・外用剤・栄養・除圧

ドレッシング材・ズレの管理・再発予防



20XY年2月
DU-E6s8I3G6N6p0:29

20XY年4月

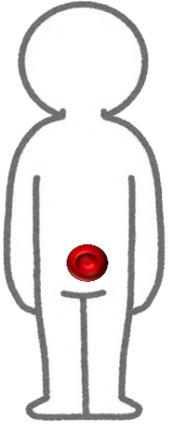
20XY年6月
D3-e1s3i0g1n0P9:14

20XY年8月
治癒

専門性の高い看護師、特定行為研修修了者による効果

2. 利用者・家族への貢献と効果

【例】褥瘡をもつ利用者へ介入時期に応じた効果



介入時期	訪問看護の目的	訪問看護の頻度 (週)	訪問診療の頻度 (月)	利用者への効果
急性期	創傷治癒を目指した集中的なケア	7回	2～3回/月 ※病院は終診	▶通院に係る時間、料金、 家族の負担軽減 ▶相談内容は訪問時に解 決できる
治癒後～ 安定期	再発予防ケア リハビリ等	1～2回	2回/月	▶リハビリ等を継続し 再発予防ができる



専門性の高い看護師、特定行為研修修了者による効果

3. 訪問看護による収益

【訪問看護の医療報酬額 週7回】

訪問単価 約8,500円(回) × 30日
+
24時間対応加算6,400円
+
特別管理加算2,500円

263,900円/月収益
延べ回数としては
週1回訪問する
新規利用者の7人分に
相当するともいえる

【週3回 訪問看護の介護報酬額】

訪問看護 9,359円(60分/回) × 12日
+
24時間対応加算6,543円
+
特別管理加算2,850円

121,611円/月収益
利用者の安定

【医療保険による訪問看護 週7回介入】



【介護保険による訪問看護 週3回介入】



専門性の高い看護師、特定行為研修修了者の活動の実際



学会発表



ステーション内研修



地域活動



看護大学での講師



訪問看護師へ研修



企業講演

資格を取得したことが結果ではなく
未来をつくるために必要なことを考えて実践に繋げる



特定行為研修修了者への期待する役割



医師、ケアマネジャー、病院とのつながりを強化

➡新規利用者数、訪問回数の増加から収益への期待

役割モデルとして指導や相談を行い互いに高め合う職場風土を作る

➡訪問看護の質・スキル・経験値の向上

ステーション内外へ活動の幅を広げる

➡地域のリソースナースとして役割を幅広く担う

ご視聴ありがとうございました

